

TPS入門

『トヨタ生産方式～1個流し～コンパクトな生産ライン』

■本セミナーの特長

生産拠点では、品質・コスト・納期に関わる不具合・問題の解決活動に加え製造原価削減やリード・タイム短縮や新製品開発・量産導入の課題等、山積みです。

多品種少量生産更には変種変量生産の影響によって改善活動の取り組みや進め方に？
迷い？が生じませんか？

トヨタ生産方式の取り組みを学習し、改善活動を推進させる情報を共有化し
意見交換しましょう！

フレキシブルでコンパクトな生産ラインの構築を テキスト と
スクリーン・VTR で解説します。

コンパクトな生産ラインを運用する為の1個流しラインの標準作業を
実習します。



概 要

■日程:2016年 1月7日(木)

■時間:10時～17時

■会場:倉吉交流プラザ(第1研修室)

倉吉市駄経寺町187-1

■定員:15名(先着順)

※定員を超える場合、同一企業人数は調整させていただく場合があります。

■受講料 1,000円(一人当たり、テキスト代含む)

《お申込み後の流れ》

①受講者:受講申込書に必要な事項を記入し、下記連絡先にファクシミリで申込んでください。

②事務局:受講通知を受講者様宛に、申込書に記載のメールアドレスへ送信します。

③受講料:セミナー当日持参してください。

《キャンセルについて》

・受講料受領後に、受講者様のご都合により、受講途中でご出席出来なくなった場合は、お支払いいただいた受講料の返金は致しかねますので予めご了承下さい。

■講習時に用意いただくもの

筆記用具・マーカーペン・赤ペン・電卓(携帯電話の電卓機能不可)

■主催:鳥取県戦略産業雇用創造プロジェクト推進協議会

《連絡先》鳥取県戦略産業雇用創造プロジェクト推進協議会中部支部

鳥取県立産業人材育成センター(倉吉校)内

電話:0858-27-5333 ファクシミリ:0858-27-5334

電子メール: sangyoujinzai-center@pref.tottori.jp

プログラム

1. 造り方によって変動する費用
2. 早く作り過ぎの無駄 と 在庫
3. 生産性向上より在庫削減が優先
4. リード・タイムの短縮
5. トータルなマネジメントの仕組みから捉えた

トヨタ生産方式

6. 平準化生産による小ロット生産

⇒ ノン・ストック生産方式

7. 多品種少量生産ラインに移行するために

リード・タイム短縮を再確認する

7. 1個流し生産ラインの＜標準作業＞・・・(実習を含む)
8. 変化に対応する生産方式を構築する改善活動を推進
9. アンドンの 運用方法
10. かんばんの 運用方法



講師プロフィール

【柴田 繁男(しばた しげお)】

(株)T.M.A.シニアコンサルタント

【略歴】トヨタ生産方式の生みの親である元トヨタ自動車工業(株)副社長 大野耐一氏の薫陶を受けた

(株)T.M.A. 代表取締役 菅原茂比古に従事し、トヨタ生産方式による現場管理手法並びにそれをサポートするPMを学び、現場改善のコンサルタントとして活躍中。

